

## アンケートの結果や現状の把握により以下の課題が抽出されました。

### ① 複雑な運行体系

生活路線バスは路線と路線が混在する複雑な運行となっており、利用者にわかりにくい運行になっています。このため、各地域に施設を集約する拠点がある一方で連携が十分な状況ではなく、地域内・地域間での連携を強化する公共交通が必要です。

### ② 利用者の移動ニーズと公共交通サービスの不整合

利用者の利用ニーズ（行きたい時行きたい所に行く）に対して、これを十分に満たしていない状況が確認されました。利用者の生活パターンに沿った交通サービスの提供が必要です。

### ③ 公共交通空白地域への対応

町内のおよそ2割の人が公共交通を利用しにくい環境で暮らしています。高齢化に対応した公共交通サービスとするため、このような地域をできる限り減らすきめ細やかな交通サービスの検討が必要です。

### ④ 町外を結ぶ広域交通との連携

町外へ行きたい人のニーズやU・Iターン希望者、観光客、飯南高校関係者の来訪に対応するため、周辺自治体や交通事業者と連携し、町外を結ぶ広域交通への対応が必要です。

### ⑤ 財政負担の増加と複雑な運行管理体制

バスの運行による行政負担は増え続けています。持続可能な公共交通を構築するために、運行管理体制を改善し、効率的なサービスを検討していく必要があります。

### ⑥ 関係主体との連携強化

今後、利用者の視点に立ったより良いサービスを実現するために、住民や交通事業者、役場の関係セクション、目的地となる施設など、さまざまな関係主体と連携した取り組みの推進が必要です。

### ⑦ 利用者目線に立ったわかりやすい情報の提供

利用者がバスを利用するまでの過程では時刻表やバスマップ、バス停周辺環境、バスの乗車環境なども重要な要素です。各段階で利用者目線に立ったわかりやすい情報提供が必要です。

## 今後のスケジュール

**H27 年度** 飯南町地域公共交通計画の策定  
具体的な運行方法やダイヤを検討します。



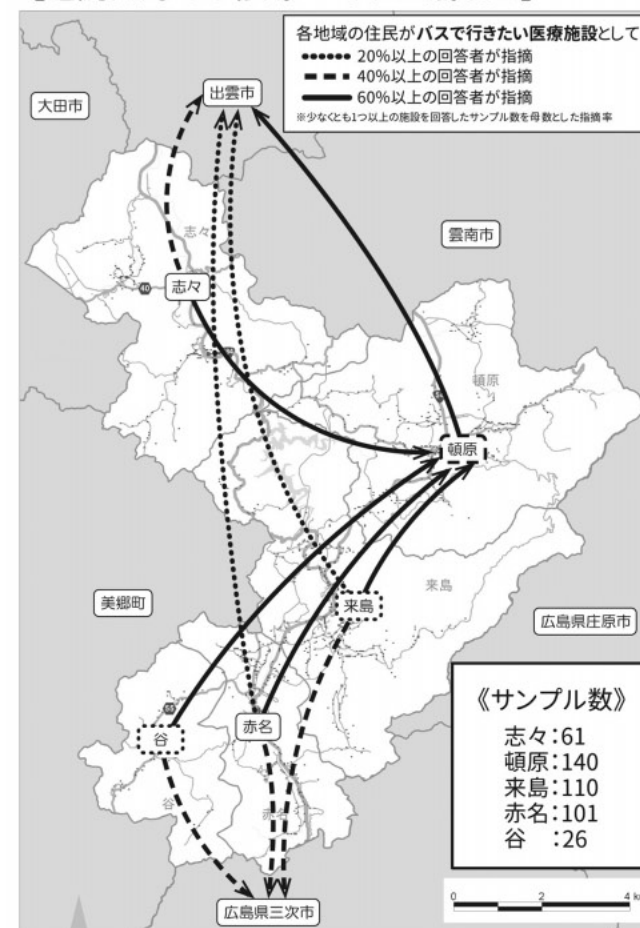
**H28 年度** 地域公共交通計画策定のための詳細な運行計画づくり  
飯南町の公共交通政策の方向性を計画します。  
--> 実証運行の実施を予定しています。

## 飯南町の公共交通に関するアンケート調査結果(2)

### ■ あなたがバスで行きたい医療機関・買い物先はどこにありますか？

【通院目的での移動ニーズ:65歳以上】

【買物目的での移動ニーズ:65歳以上】

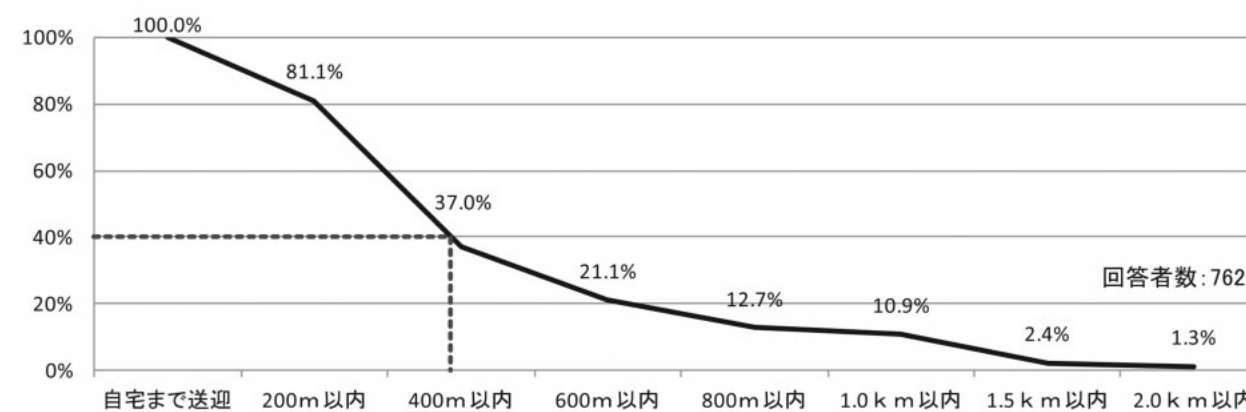


飯南病院のある頓原へのニーズが高くなっています。また、出雲市や三次市の医療機関へのニーズも確認できました。



町内では商品の充実している頓原へのニーズが高いです。町外では、頓原方面では出雲市、赤名・来島・谷方面では三次市への買い物ニーズが確認できました。

### ■ 「自宅からバス停までの距離」がどれくらいまでならばバスを利用しても良いですか？



バス停からの距離が400m以上離れると「利用してもよい」と回答する人が4割を切っています。現在飯南町では17.8%の人がバス停から400m以上離れた場所に暮らしています。